

監視カメラ・防犯セキュリティなら マルチックにおまかせください。

施行実績3,000社以上。

東京・神奈川
地域限定

高画質カメラ
交換キャンペーン
実施中

プロのセキュリティ・アドバイザーがホテル・旅館の
リスクマネジメントのお手伝いをいたします。

マルチック
セキュリティアドバイザー

相談
無料

無料現地調査・資料請求
まずはお問い合わせください。

お問い合わせの際、観光経済新聞を見たとお知らせください。現地調査の際に防犯ステッカーをプレゼントいたします。

防犯カメラ・監視カメラの総合セキュリティ

multik マルチック株式会社

Eメール contact@maltik.jp

URL <http://www.multik.tokyo>

0120-997-984

【本社】〒251-0045 神奈川県藤沢市辻堂西海岸 2-10-3-11
【支店】〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-11-4-100
公益社団法人 日本防犯設備協会会員

マルチック



金井取締役

マルチックは、高性能で低コストを実現した防犯・監視カメラシステムを導入を宿泊施設に提案している。カメラや録画装置は、台湾最大手メーカーの製品を同社がOEM供給で自社ブランドとして販売し、設置工事・メンテナンス、ここ最近の外国人旅行の相談に対応している。

「高機能カメラシステムの出入りする玄関や外周、現金を扱うフロアなどの防犯強化のニーズが高まっている背景から先月には、防犯カメラに関する事業者向けセミナーを開催、既設カメラの性能は飛躍的に向上しており、既設カメラシステムの更新（交換）キャンペーンを行っている。

外客増加で防犯強化を

■会社概要

本社 神奈川県藤沢市辻堂西海岸 2-10-3-11
創業 1955年 1月
事業内容 防犯・監視機器、映像・音響機器を用いたソリューション提案、輸入販売、施工
資本金 1000万円
従業員数 5人

業界発展に寄与する優良カンパニー

防犯・監視機器



岩佐部長

LPGガスの輸入販売

石油元売り最大のJXホールディングスのグループ会社で、LPGガスの輸入販売事業を行うENEOSグループ（東京都千代田区）の配送などで流通コストが余分に発生するため、都市ガスに比べ、LPGのボイラーをLPGボイラーに転換する動きが強化されている。転換のメリットや今後の普及見通しなどについて、同社広域販売部の岩佐吉寛部長に聞いた。

◇ 御社の企業概要を教えてください。
岩佐 JX日鉱日石エネルギーと三井物産、丸紅が個別に行っていたLPG事業を統合し、2011年に設立した会社だ。全国にLPG輸入基地・出荷基地を15カ所保有しており、各地にLPGを迅速に供給できる体制を整えている。

—LPGの特性は。
岩佐 主に家庭や宿泊施設・飲食店の厨房で用いられる炭素数の「プロパン」と、ライターやタクシー用燃料で使われる炭素数の「ブタン」の2種類がある。LPGは都市ガスより炭素数が多いので熱量が高く、厨房での利用では特に力を発揮する。重油や灯油に比べて、二酸化炭素排出量や硫黄分などが極めて少なく、環境に優しいエネルギーだ。

—その特長を生かし、弊社は旅館・ホテルに対し、厨房だけでなく、給湯や空調で重油や灯油を使うボイラーからLPGボイラーへの転換を勧める業務を強化している。
—都市ガスとの違いは。
岩佐 都市ガスは都市部の人口密集地域にパイプラインを敷設して供給している。しかし、人口が少ない地方ではこの方法ではコストを回収できないため、LPGが一般的な利用されている。旅館・ホテルの厨房用としてLPGを使用する場合は、使用量が少量のため、ボンベでの供給が一般的。その場合、ボンベへの充填やトラックでの配送などで流通コストが余分に発生するため、都市ガスに比べ、LPGは高めの料金設定となっていることが多い。

—ただし、旅館・ホテルの給湯や空調をLPGに燃料転換すると、使用量が大きくなるため、ボンベではなく、施設にLPGタンクを設置し、ローリーで配送することになる。結果的には流通コストが削減され、重油や都市ガスに対して競争力のある価格で提案することになる。

—旅館・ホテル特有の事情もある。
岩佐 消防法が平成22（2010）年に改正され、設置から40年以上使用した地下タンクにはタンク内面にコーティングをすることが義務付けられた。地下タンクの設置が多い宿泊施設では、コーティング費用を負担するより地下タンクを廃止し、効率の良いLPGボイラーへ転換するお客さまが増えている。

—国の支援策も充実していると思う。
岩佐 経済産業省が率先して環境に優しいガス体エネルギーへの転換を図っているため、補助金制度が充実している。事業者がボイラー設備をLPGボイラーに更新する際、最大で経費の3分の1を補助する制度がある。さらに、災害時に捨ていた排水を再利用して給水の加温に利用するため、重油や灯油を使うボイラーより3割程度効率が高くなっている。近年、旅館・ホテルは、災害時の避難所として注目されており、ボイラーの更新と災害対応を強化することで、二つの補助金制度を有効に活用することができると。

LPGボイラーへの転換 旅館・ホテルに提案

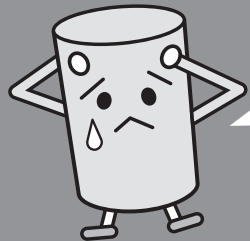
■会社概要

本社 東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー
創業 2011年 3月
事業内容 LPGガスの輸入・販売、新エネルギー関連（燃料電池・太陽光発電）関連機器の販売
資本金 20億円
従業員数 約300人（2015年12月現在）

あなたのボイラは、設置後10年を過ぎていませんか？

ENEOS

水量つよし、 シャワー温度よし、 お湯のおもてなし。



ボイラ
お悩み
チェック

- ✓ 湯温がなかなか安定しない
- ✓ 燃料の臭いやボイラの騒音が気になる
- ✓ 故障が多く保守管理費用が増えてきた

LPガスボイラの導入で、お客さまのサービス向上に一役買います!!

【安定した供給力】

分散型エネルギーなので、災害時には早期の復旧が可能となり、安定的にエネルギーをご利用できます。

【抜群の省エネ性】

最新のガスボイラは、最大で効率が103%に向上。ススが発生しないため、ボイラの効率低下を抑えられます。

【クリーンなエネルギー】

有害な硫黄酸化物がほぼゼロのため、空気もキレイ。また地球温暖化の原因であるCO₂を大幅に削減できます。

【補助金制度の活用】

燃料転換時には、補助金制度があり、国からのサポートを受けながら設備の更新ができます。

未来のあなたに、LPガスができること

ENEOSグローブ株式会社

〒100-6115 東京都千代田区永田町二丁目11-1 山王パークタワー15F

●お問合せ先●

広域販売部 産業エネルギーグループ

TEL: 03-5253-9450

<http://www.eneos-globe.co.jp/>